

# 美空 全勝優勝

# 紙相撲新聞

第148回本場所  
十日目、千秋楽号

編集・発行  
日本紙相撲協会

## 6回の壁を越える7回目の優勝

## 第114回場所の英以来の横綱全勝

【第百四十八回本場所十日目千秋楽】

第148回紙相撲本場所は三週連続となった前開催日から三週間が過ぎた4月20日、スツキリと晴れ渡りやや涼しさも感じる晴天のもと、千秋楽が平成最後の場所として練馬国技館にて取り行われた。

またこの日は千秋楽恒例となった三賞のトロフィーを携えて北海道よりふた場所振りに霧ヶ浜親方も駆けつけ、

十両で優勝争いを繰り広げる愛弟子三力士に熱い声援を送っていた。

その平成最期の場所で賜杯を手にしたのは横綱美空富士だった。連日危なげない横綱美空を見せ抜群の安定感で見事に全勝優勝を果たした。全勝優勝は144回場所の白閃光以来で横綱の全勝優勝を遡ると114回場所の英以来の事となり実に約12年半振りに達成された。横綱といえるか否か容易に物語っていない状況は、昨今の群雄割拠の激戦期を物語っていると思う。

更に歴代横綱の呪縛となる6回の壁を越え七度目の優勝を飾り、横綱に名を連ね、次なる目標は紙相撲界では



↑千秋楽、横綱同士の大一番。十日目に優勝を決めたものの、横綱で初めての全勝を賭け、気迫に勝る美空が若嶋を圧倒した。

↓朝日松新理事長から、初の賜杯を受ける美空富士。6回の壁を破る7回目の優勝を全勝で飾った。



優勝	美空富士	全勝
支那虎	九勝二敗	七勝
魁電	十勝一敗	七勝
剣竜	九勝二敗	七勝
西野	十勝一敗	七勝
繁元	九勝二敗	七勝
松山	十勝一敗	七勝
錦	九勝二敗	七勝
口	十勝一敗	七勝
二段	九勝二敗	七勝
三目	十勝一敗	七勝
序口	九勝二敗	七勝

を連ね、次なる目標は紙相撲界では知らぬ者はいない名横綱照の花の9回越えだろう。今の美空富士ならばその日もそんなに遠くないと思われる。

第148回本場所星取表

美空富士	横綱	若乃嶋	電	幕
春ノ翔	大関	白内光	照	王
魁電	関脇	佐賀ノ海	劍	竜
英武	関脇	神出	葵	盛
玄武	小結	大出	日向	藤
水晶	前1	阿古耶川	男女	山
永超	前2	虎剛	乃	洲
宋雀	前3	剛勇	桃	大
夢力	前4	鳥帽子岳	龍	不
季嶋	前5	源支那	太	刀
鹿富	前6	支那	櫻	吹
月山	前7	大磯	角	武
若花	前8	磯角	乃	蔵
富士ノ	前9	藤乃	乃	嵐
虎風	前10	綱生	初	山
鬼ヶ	前11	生初	鳥	海
黒磯	前12	初鳥		
三光	前13			
風	前14			

天虎	我	十1	電	幕
ノ	國	2	照	の
寶藏	十3	劍	葵	盛
磯	十4	日向	藤	山
伊達	十5	男女	乃	洲
若大	十6	桃	大	磯
紅葉	十7	龍	不	刀
紅	十8	太	櫻	武
劍	十9	角	乃	蔵
龍	十10	乃	嵐	山
龍	十11	初	鳥	海
若	十12			
冬	十13			
若	十14			



魁電○(寄り切り)●支那虎

終盤の九日目までを取り終えて全勝の横綱美空富士を一敗で平幕の支那虎が、二敗で横綱若乃嶋、大関春ノ翔となつて迎えた十日目。先頭を二敗で敗れた虎風、若嶋、春ノ翔、若乃嶋と、魁電の力に屈してがぶり四つそのまま寄り切り二敗と後退した支那虎が美空富士の取り込みを待つことになった。